

STAFF STORY



せや在宅クリニックで働くスタッフのストーリー



患者様・ご家族様の「声」に耳をかたむけて

医師

生活の支えとなる在宅医療を提供することを目指しています



重度障がいを抱えた患者さんの親御さんの悩みに耳をかたむけて訪問診療を志す

訪問診療を志すようになったのは、横浜市立大学小児科で小児神経科医として診療を通し、特に重度の障がいを抱えた患者さんの親御さんから病院に通院するのが大変というお悩みについて多くの相談を受ける機会があったからです。

大村先生の著書

『「病院」診療の限界「訪問」診療の未来』を読んで

その後、せや在宅クリニックの創設者である大村在幸先生のご著書の『「病院」診療の限界「訪問」診療の未来』を読んだことがきっかけとなり、せや在宅クリニックでの勤務を始めました。

せや在宅クリニックは横浜市で本格的に小児の訪問診療に取り組んでいます。小児や小児期を過ぎた障がい児・者の患者様が100人以上いらっしゃり、小児在宅医療、重症心身障害者や神経難病を対象とした在宅医療を提供しております。

高齢の患者様や看取りを視野に入れたがん患者様への医療などにも幅広く対応しています。

小児から成人まで病気や障がいのある方に生活の支えとなる在宅医療を提供することを目指しています。

